

旧日光街道界限考現学：江戸から東京へ繋ぐ道

日光と江戸城・東京中心部をつなぐ街道とその周囲には、全国の職人技術、世界の科学知識、版画や芸術文学が集約し江戸盛期の文化が生まれました。一方で吉田松陰の悲劇の跡も残ります。江戸へと向かう思いは最後に日銀に遮られ、堀を跨ぐ近代的鉄橋で終わります。この消えかける歴史と近代の間で人々の「やむにやまれぬ」思いと葛藤が感じられる道筋です。その小さな兆候を錦絵、屋号、テクノアート、落書き、神社に探り、路傍採集を行いました。（江戸時代の水路跡も青で記入しました。痕跡を探してみてください）

浮世絵・錦絵が街のかお：

そこに描かれた弁慶や女性、群衆の様子は、歴史の名残というよりは、江戸から東京へとたくさんの災害を乗り越えてこの地域に住み、働いた人々の日々の前向きな思いとこたわりを感じさせます。9例のみ取り上げます

旧日光街道・室町の古い屋号は街のフォント：

街に散在する歴史的屋号は今も新鮮で、確かにこの地域の粋な雰囲気を形成しています。（すでにない店、屋号を変更した例も含む。著者による限定的な調査結果）
小津和紙、山本海苔、弁松、神茂、さるや、鮎佐、千正屋木屋、にんべん、清寿軒、木屋、三越、江戸屋、丸久商店、田源、竺仙、伊場仙、伊勢重、村田屋、仙鶴堂、大丸屋、松坂屋、井筒屋、耕書堂、丹波屋

路傍採集1：ユニークな折衷様式建築たち

関東大震災後の復興小学校や大伝馬町あたりの商店建築、十思公園周辺の寺社は様式を色々融合した不思議な造形で魅力的。他にもたくさん面白い小規模建築が路地に隠れている

道路舗装のデザインにみる職人技：

道路の舗装のパッチワークやマンホールカバーの舗装など、よく見ると熟練の細工があつてこそその造形だという事に気づいたことはあるでしょうか。職人同士でも、その作業をする人への尊敬をさっぱり払い、丁寧に仕事をしているのは素敵です

神社は地域の守り神：

この地域は神社が多いです。商売繁盛だけでなく、防災やコミュニティの靱帯として重要な仕組みでした

- | | |
|-----------|------------|
| 1 亀嶋稲荷神社 | 8 金山神社 |
| 2 竹森神社 | 9 池洲神社 |
| 3 千代田神社 | 10 大神神社分室 |
| 4 宝安稲荷大明神 | 11 岩代稲荷神社 |
| 5 宝田恵比寿神社 | 12 橋稲荷神社 |
| 6 梶森神社 | 13 末廣神社 |
| 7 三光稲荷神社 | 14 小網神社 |
| | 15 銭洗弁天 |
| | 16 常磐稲荷 |
| | 17 薬祖神社 |
| | 18 福德神社 |
| | 19 三囲神社 |
| | 20 正一位福田稲荷 |
| | 21 家内喜稲荷 |
| | 22 白旗稲荷 |

路傍採集2：どこでもドア2つ

立派なドアだが空き地に立つドア、人の入れなさそうなビルの隙間を塞ぐドア、街の隙間が楽しくなる不思議な仕掛け

路傍採集3：プラスチックのメダカも食品モデルも人気

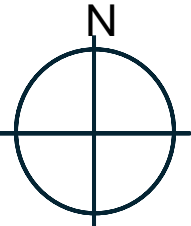
路地の住宅や風情のある店の前にはメダカの水槽がよく置かれています。プラスチックのメダカやカエルがいる水槽が意外に多いのはなぜだろう？定食屋の前のプラスチック食モデルも今や珍しい存在ですが、ここでは立派に現役です

鉄橋や高速道路の構造はモダンテクノアート：

日本で最初の鉄道が建設され都市開発の先端を走ってきた日本橋周辺には、美しい装飾のされた鉄の橋脚やトラス、ボルトナット、日本橋のメダルや麒麟の彫刻、ビビッドな彩色があちこちに隠れています。都市の近代化を象徴する造形としてじっくり見て味わってください

道路の落書きはインフラ更新のサイン：

舗装が剥がれてアスファルトが剥き出しの場所がこのエリアには多い。よく見るとビルに引き込む水道やガス、電気、通信線の改修工事の指示でした。都市が目に見えない部分で常に更新し続けている兆候です



縮尺：A1：1100分の1
A3：2200分の1

作者：黒石いずみ＋散歩仲間達（詳細別記）